

授業デザイン FIRST STEP Vol.2 —「情報を収集する」編—

1 なぜ、問いの追究や解決に向けて生徒が「情報を収集する」必要があるの？

今後の社会は、必要な情報を主体的に収集し、情報を活用して自分の考えを形成したり、課題を解決したりすることが重要になるからです。

中学校学習指導要領(平成29年告示)解説社会編では、目標の中に、「社会的事象等について調べまとめる技能」を身に付けることが示されています。「社会的事象等について調べまとめる技能」を構成する技能の1つとして、「情報を収集する技能」が挙げられています。



中学校学習指導要領(平成29年告示)解説社会編、文部科学省『教育の情報化に関する手引』について』を基に作成

2 生徒が「情報を収集する」際に、教師が指導上留意することは？

生徒が情報を収集する際は、各生徒が次のことを明確にする手立てを取ることが大切です。

- ① 追究の目的 ② 着目する視点 ③ 追究する方法と内容

具体例として、課題を追究したり解決したりする活動を取り入れた単元及び各生徒が①②③を明確にするためのワークシートを以下に示します。



〔課題を追究したり解決したりする活動を取り入れた単元〕

公民的分野 項目D

「(1)世界平和と人類の福祉の増大」

第二次(計9時間)

各生徒が自分の興味・関心のある、または得意な分野である学習課題を1つ選び、情報を収集し、【第二次の問い】を追究します。

【単元を貫く問い】 世界平和と人類の福祉の増大のために、日本はどのような役割を果たしていくべきか。

【第一次の問い】 国際社会で取り組むべき課題にはどのようなものがあるだろうか。

【第二次の問い】 国際社会は、様々な課題にどのように取り組んできたのだろうか。

- ・学習課題A 領土をめぐる問題、紛争、テロ、核兵器
- ・学習課題B 資源・エネルギー、貧困などの問題
- ・学習課題C 地球環境問題
- ・学習課題D 世界の人々の人権の保障

※学習課題A～Dのうち、自分の興味・関心のある、または得意な分野である学習課題を1つ選択する。予定した学習時間内でレポートにまとめることができるよう、各自、追究の方法やその計画を決める。

【第三次の問い】 国際社会が抱える課題の解決に当たり、どのようなことが障壁となっているのだろうか。世界平和と人類の福祉の増大のために必要なことをまとめてみよう。

国立教育政策研究所『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』pp.92-97を基に作成

〔各生徒が①②③を明確にするためのワークシート〕



私は、学習課題Bを選択します。フェアトレードについて追究したいです。

1年生の地理の学習で、アフリカ州のプランテーション農業を学んだとき、輸出用のカカオ豆やコーヒー豆が現地の人々の過酷な労働条件の下で生産されてきたことを知りました。その改善のためのフェアトレードの取組が、現在の日本であまり広がっていないという記事を読み、どうすべきか考えたいと思い、次の学習計画を立てました。

【私の学習課題】(B 資源・エネルギー、貧困などの問題)

目的	フェアトレードが、日本に広がり適切に実施されるために、何が必要なのかを見いだす。
①	理由：日本は、他の先進国と比べて、フェアトレードが行われていないという記事を読み、本当にそうであれば課題だと思ったから。
視点	☐ 対立と合意 ☐ 効率と公正 ☐ 個人の尊重と法の支配 ☐ 民主主義 ☒ 分業と交換 ☐ 希少性 ☒ その他 (産業 、 経済 、 生活・文化)
②	
内容 と 方法	※どこに、どのように、なぜそこに、なぜそのように、いつ、推移や変化、因果や影響等について考えてみよう
③	1 各先進国における国民のフェアトレードに対する意識や、フェアトレードに取り組んでいる企業数、取引額、取引の具体について、日本と比較し、世界における日本の実態を調べる。 2 フェアトレードが始まる前と現在を比較し、カカオ農園労働者の生活の変化を調べる。 対象は、日本が最もカカオ豆を輸入しているガーナに絞る。 3 フェアトレードが始まる前と現在を比較し、ガーナの経済の変化を調べる。



必要な情報をどの視点から集めるのか、考えることができるようにします。まずは、教師がいくつかの視点を提示し、その中から生徒が選択することから始めましょう。

何について、どのように考えるのかを明らかにできるようにします。物事を比較したり、関連付けたり、多面的・多角的に捉えたりするなど、「考えるための技法」を活用するよう促しましょう。

※「考えるための技法」の詳細については、『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説総合的な学習の時間編』pp.79-82を御参照ください。

北俊夫『個を生かす社会科「学習の複線化」事典』、宗實直樹『社会科「個別最適な学び」授業デザイン理論編』等を基に作成